

世界はもっとカラフルにできる。



Burano

医療的ケア児と家族のためのHUB拠点

「これまで」と「これから」

一般社団法人Burano

秋山 政明

2020年8月31日

拠点整備に至るまでの経緯



長男「晴」の誕生

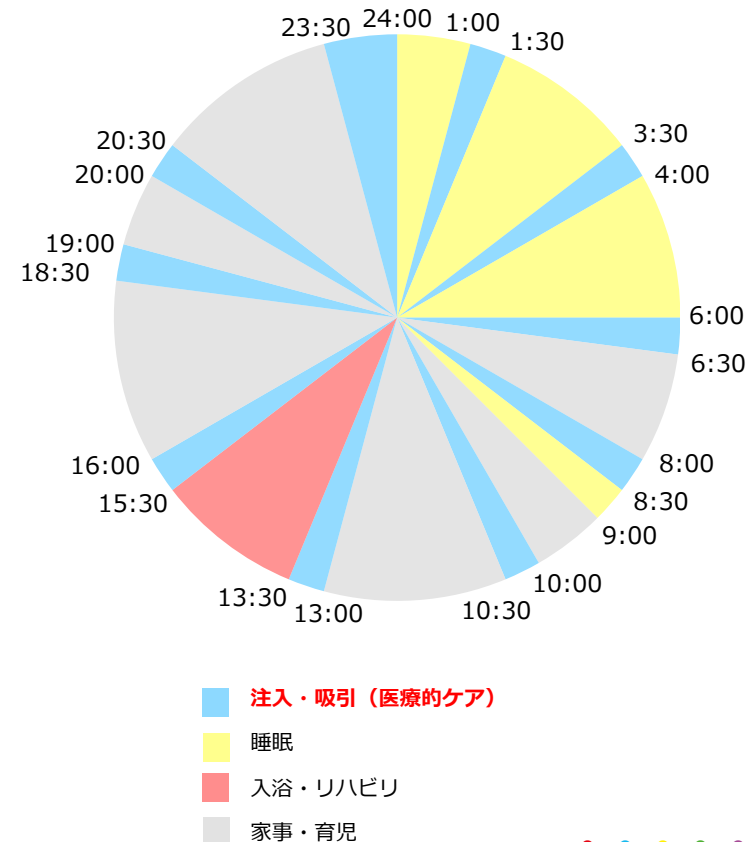
平成28年5月31日、晴が重症新生児仮死の状態で誕生。

半年間の入院を経て12月末に退院。気管切開し人工呼吸器を装着。経管栄養も。

■ 出生時の長男

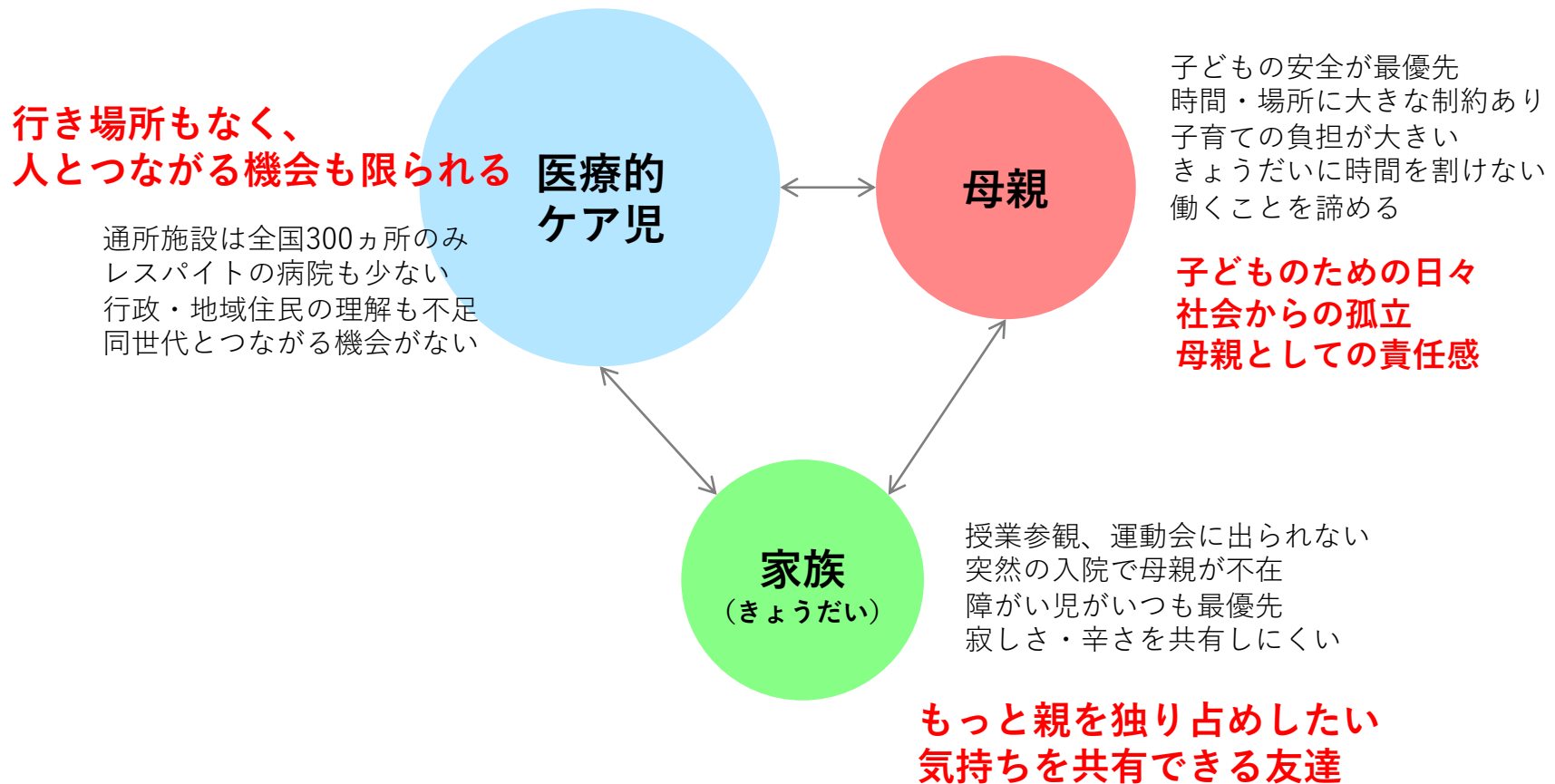


■ 母親の24時間の流れ



医療的ケア児の複合的な課題

医療的ケア児が生まれることで発生する様々な課題は、面で解決する。
 そのためには必要な事業モデルとは？



団体概要と事業概要



団体概要について



医療ケア児の親たち 7 人で非営利型の一般社団法人Buranoを立ち上げる。
経験はないが、子どもたちのためのという想いはどこよりも強い組織。



■団体概要

一般社団法人Burano
(非営利徹底型)

代表理事 秋山 未来

法人役員 7 名

設立 2017年8月16日

Buranoでは2つの事業と1つの活動を展開。重心児や医療的ケア児のための通所支援サービス「titta」、そしてママのためのワークコミュニティ「kikka」、そして「きょうだい児支援」



重心児や医療的ケア児のための通所支援サービス「titta」

重度障がいがあるお子さんをお預かり。月曜日から土曜日までオープン。兄弟の学校行事や冠婚葬祭で両親が留守をしなければならない時など。



ママのためのワークコミュニティ「kikka」

時間ができた時に、できる場所で、できる分だけ仕事をする「クラウドソーシング」と、みんなで集まって楽しく働ける「コワーキングスペース」を用意。

きょうだい児のスペース

きょうだいがBuranoに通うことが楽しみになるように、きょうだい同士でつながり、一緒に遊べる場所を2Fに設置。定期的に料理教室やパーティなどのイベントを開催。

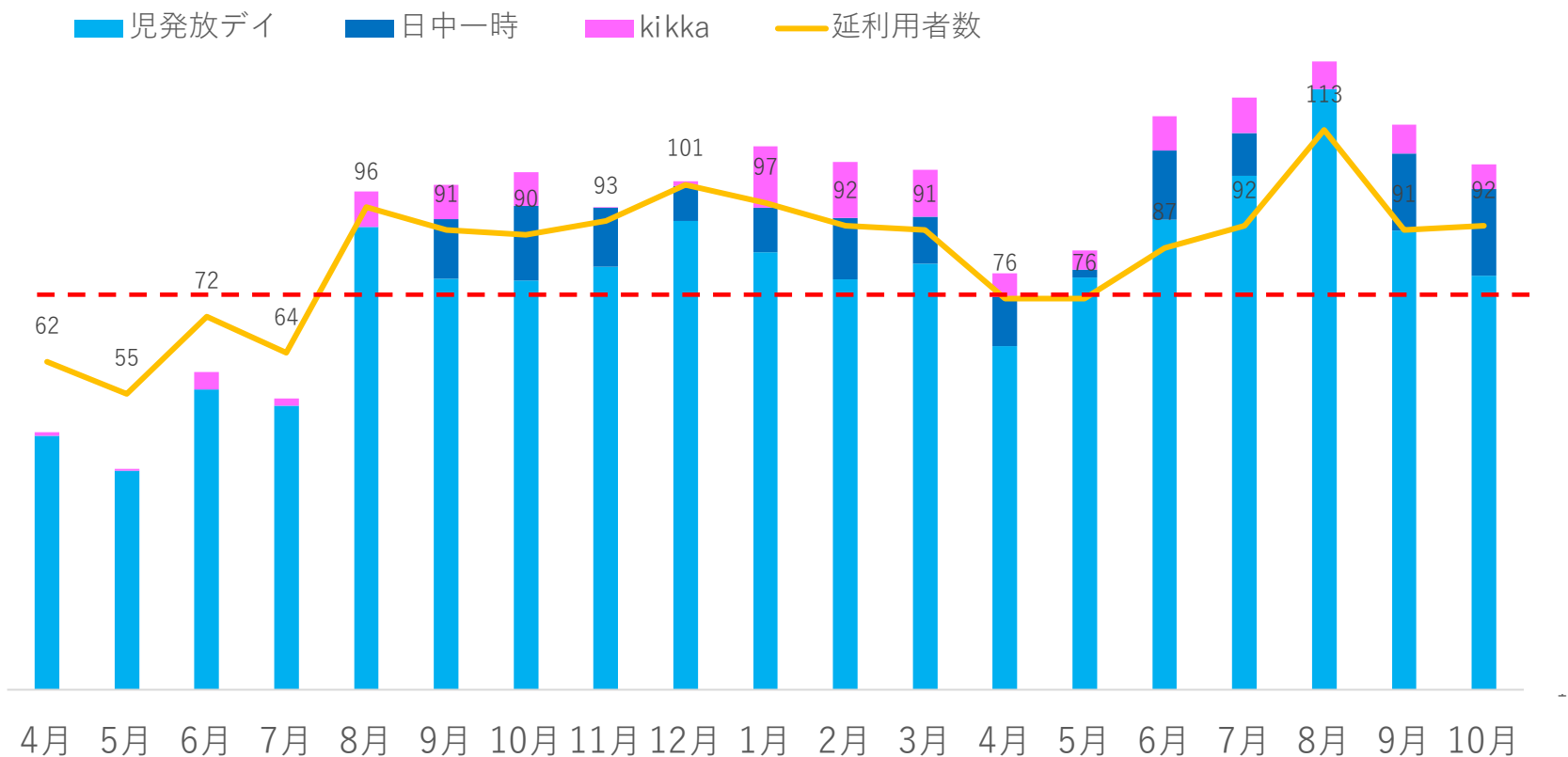
開所からこれまでの変化



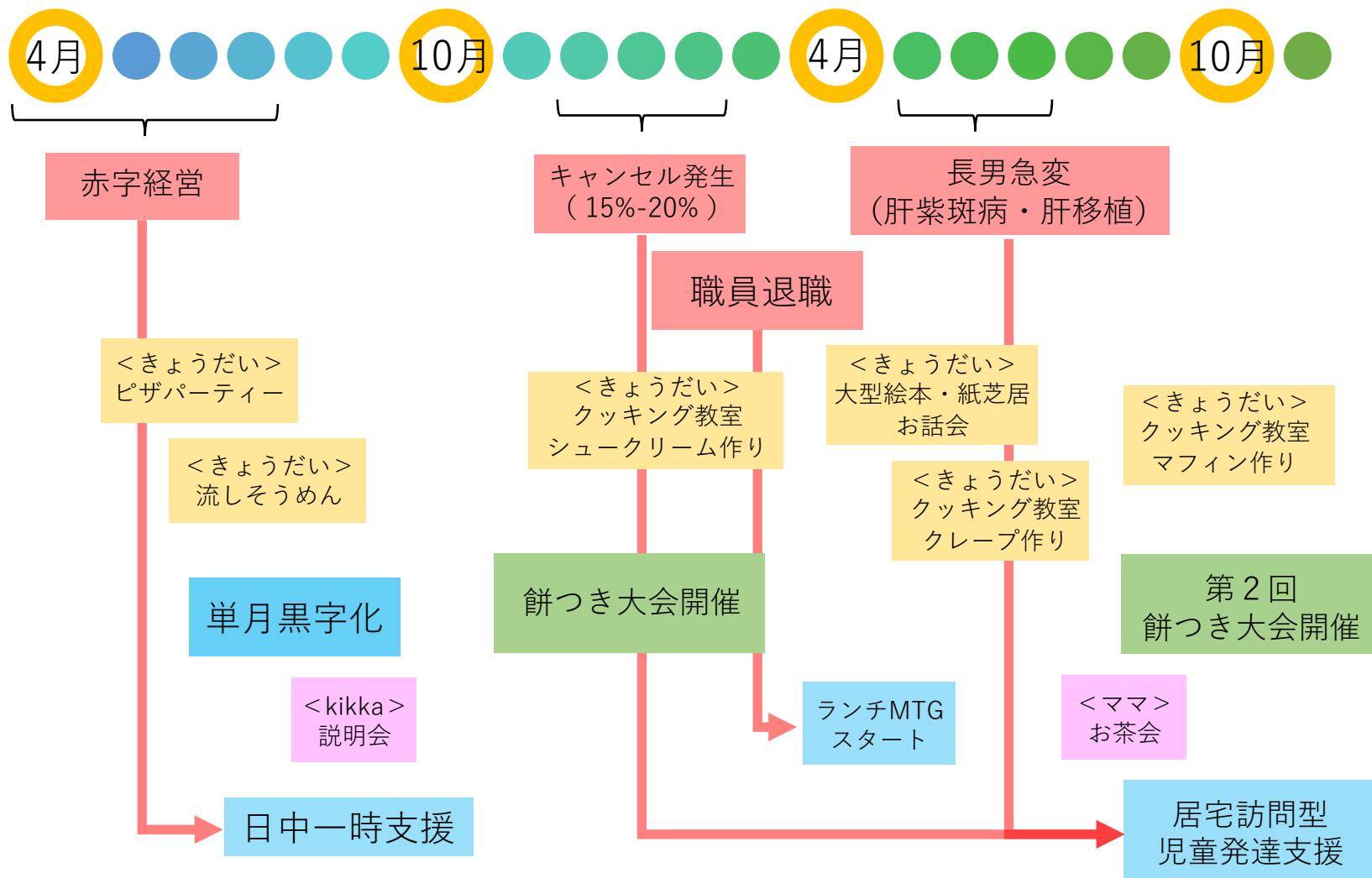
Burano全体売上推移



4月にオープンして以降、順調に契約者数は24名まで増加。
2018年9月より日中一時支援を開始し、事業は黒字化。月次で90-110名で推移。



開所からの変化



きょうだいの作文

Buranoに通うきょうだい児が書いてくれた作文。

『みんながあつまる場所』

竹内 優菜

私には、しょうがいがあり、自分では動けない妹がいます。家では、ベッドでいっしょにぬいぐるみやおもちゃで遊んでいます。

妹は、ブラーノというしせつに通っています。ブラーノには、しょうがいがある子たちが通っていて、はじめて見たときは、少しびっくりしました。なぜかという、妹とはちがうしょうがいや、びょうきの子たちがいたからです。はじめは、何もできず、声もかけることができませんでした。でもいっしょに遊んだり、すごす時間がふえてくると、お話できるようになったり、手をにぎったりすることができました。

ブラーノで、たくさんのお家ぞくがあつまって、クッキー作りやピザ作りをしました。

しょうがいのある子もない子も、みんないっしょにさんかします。お母さんたちも、私たち兄弟姉妹があつまって、みんなとなかよくクッキーやピザ作りができました。

妹といっしょにでかけることはむずかしいけれど、一つの場合にあつまって、たくさんの人にかこまれて遊ぶことは、とてもよいことだと思いました。

私はしょうがいがある子は妹だけだと思っています。でも、妹とちがうしょうがいを持っている子を知りました。

今はまだどんな風にしたらよいかわからないけれど、いっしょに遊んだり、楽しい時間をすごすことはできると思います。

私が楽しいとかんじることを、相手にもかんじてもらいたいなと思いました。

そして、このあつまりがもっともっと広がればいいと思います。

今後の取り組みについて



Buranoキッズフェスについて



障害のありなしに関わらず、同世代の子どもたちがフラットにつながる。
遊びにあふれたインクルーシブなキッズフェス。



『Buranoキッズフェス』

開催日：2020年3月8日（日）

場所：古河市福祉の森会館

主催：Burano

特別共催：「TOOTH FAIRY」
日本歯科医師会
日本財団

後援：茨城県、茨城県教育委員会
古河市、古河市教育委員会

県境を越えた連携について

医療的ケア児に関わる関係者の制度の理解・解釈を近づけ、
同じ方向を向いていける仲間を増やす取り組み。



【Buranoを利用する子どもたち】

茨城県・栃木県・埼玉県と3県、6市4町と
様々な自治体から利用している。

県境地域で運営していると、県域を跨ぐと
関係機関の繋がりが弱く、各自治体の障害
福祉サービスに差が大きい。

『シンポジウム』

開催日：2020年6月予定

場所：古河市福祉の森会館

最後に





Buranoは笑顔あふれる場所になっています。

